



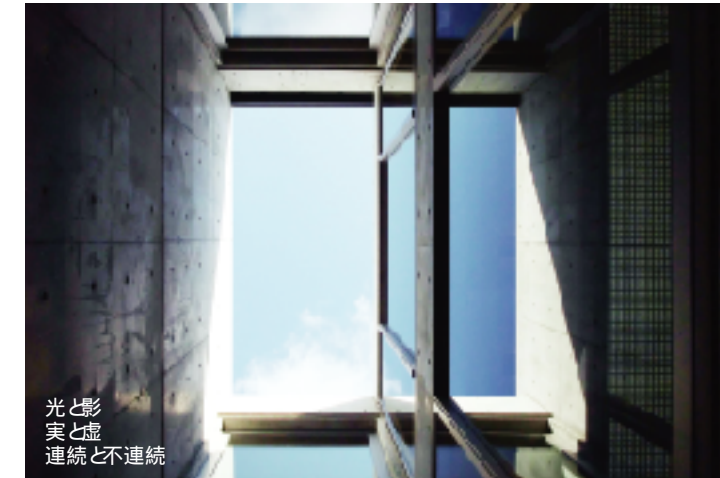
雲の波"と格子"がつく街並み



京町家等の歴史的建造物との調和  
良好な屋上景観を形成  
通り景観の連続性を維持



影が"とき"を告げる



光と影  
実と虚  
連続と不連続



光と影がつくる美

### 石部宿の家

日本建築家協会優秀建築選 2007

この建物は、間口 80m 奥行き 35.0mの敷地形状で、京都から江戸へ東海道で下がる旅人が、最初に泊まった石部宿場にあります。

用途は、施主である若夫婦とご両親、祖母との三世代が共に暮らす専用住宅で、1階を両親と祖母で、2階とP階を、若夫婦の生活空間として、2階の多目的室を、家族共有の場としています。南北に配置されたふたつの内部階段は、各生活空間を明確に分離しますが、ダイナミックに広がりが増幅しながら"空"へのびる外部階段によって、建物全体を回遊することができ、"内"と"外"があいまいで人の気配と自然を感じとることができる開放的な住宅になっています。天窓から降り注ぐ光は、無機質なコンクリートの空間に豊かな表情をつくり、街並み風景と調和する正面格子が光と影でつくる造形は、訪れる人に"とき"を感じさせます。

2007	第2種住居地域 準防火地域	敷地面積	252.18㎡
		建築面積	151.0㎡ 延床面積 290.29㎡
	鉄筋コンクリート造 地上3階建て	敷地形状	間口 8000 x 奥行き 35000



建物中央にある吹抜から、無限の自然を取り込みます

### 蛤御門の家

日本建築家協会優秀建築選 2009

京都御苑蛤御門から、西にのびる通りに面した"うなぎの寝床"に建つRC造3階の住宅です。外観は、街並みの風景と調和するように、コンクリート打放しの外壁にふたつの勾配屋根と、伝統的な町屋のデザインをとり入れた格子戸及び庇で、構成されています。

内部は、中庭をはさんで細かく分割し、視線を伸ばすことで、奥行きのある豊かな空間になります。さらに、切り取られた空がガラスに映りこみながら増幅することで、狭小な住まいが、自然の無限な広がりをもつようになります。

旧市街地型美観区域  
歴史的市街地内において、生活の中から生み出された特徴ある形態意匠を有する建築物が存し、趣のある町並みの景観形成している地域を指定しています。

近景デザイン保全区域  
視点場から視認することができる建築物等が、優れた眺望景観を阻害しないよう形態、意匠、色彩について規制する区域

2009	第2種住居地域 準防火地域	敷地面積	75.79㎡
	近景デザイン保全区域 旧市街地型美観区域	建築面積	45.00㎡ 延床面積 131.78㎡
	鉄筋コンクリート造 地上3階建て	敷地形状	間口 4500 x 奥行き 17000

